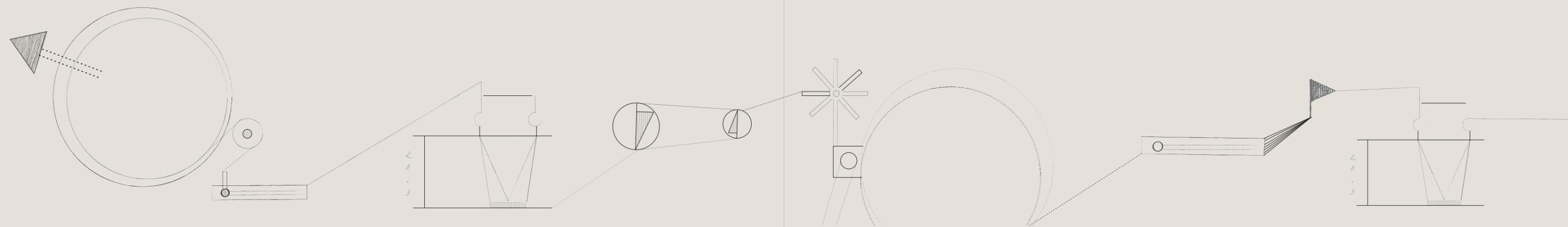


<http://smilestyle.jp/>



NPO 法人スマイルスタイル アニュアルレポート
ANNUAL REPORT ~2014





2007年からスタートした、スマスタ。 ソーシャルデザイン領域で、これからも走り続けます。

「社会的課題解決のためのクリエイティブに挑戦する。」という想いで一歩を踏み出した2007年。まちの清掃活動から始まったスマスタでしたが、2014年現在、若者就労支援・キャリア教育・企業ブランディングなど、プロジェクトの分野は益々広がってきています。7年間という時間の中で、自分たちの仕事に誇りを持ち、「スマスタは一体何なのか？」という問いに一定の答えを見出すことができた今、自社ブランドを再生し、これまでしっかりと作成できていなかった本アニュアルレポートの公開となりました。

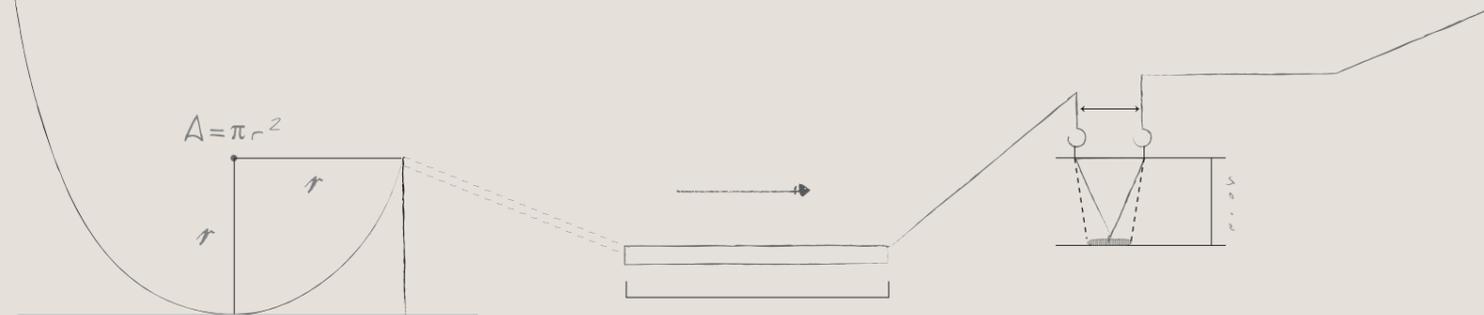
THE SOCIAL DESIGN COMPANY

ソーシャルデザイン。それは、この社会に生きる人々の「つながり」や「創造の力」で、社会の問題を解決していくための取り組みを総称します。スマスタの仕事は、企業や行政の経営課題・事業課題を、研究や実践をもとにしたデザインの力で解決し、あらゆる境遇の人々が“ふつうのしあわせ”を感じることができる社会をつくっていくことです。

今回の自社ブランドの再生は、あるひとりの若者のエピソードが根源となっています。若者就労支援事業の取り組みの中で見事就職に至ったその若者と久しぶりに会い、「仕事の調子はどう？」と話していたところ、彼は笑顔でこんなことを言っていました。「自分が会社の役に立てていると感じられることが多くて、仕事がすごく楽しいです。仕事帰りにコンビニでビールを買って家族と好きなテレビを観ながら、ツカーー！と飲んでいる時が一番しあわせ！あとは、彼女ができれば最高ですね！」すごくふつうだな。と感じました。でも、これがわたしたちがほしかったものだな。とも思いました。

あらゆる社会問題の中で、衣食住があり大切な誰かと笑い合える、そんなふつうのしあわせな日々を実現できていない人たちがいる。わたしたちの仕事は、そんな社会を変えていくためにあるべきです。「健康で文化的な最低限度の生活」という表現がありますが、しあわせを感じながら暮らす人を増やすためには、大変な研究や実践、緻密に計算された社会設計が必要になります。まだまだそこに至らない新参者ではありますが、この大きなビジョンに共感した優秀で心あるスタッフが、日々情熱的に働いているのがスマスタという組織です。

7年という時間は、長いようで大変短く感じています。同じ7年後には、大きな社会的価値を創造できるよう精進していきたいと思っています。これまで応援して下さった関係者の皆様には心より感謝申し上げますと共に、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



スマスタのソリューション

企業デザイン・公共デザイン・教育デザインの3つの領域を軸に、クライアントとなる企業や行政の経営課題・事業課題を解決に導く戦略立案とその実行がわたしたちのソリューションです。これまで、企業ブランディング、新たな公共事業モデル開発、キャリア教育プログラム開発など、生き残りをかけた経営戦略の一環としてのさまざまな提案と実践に励んで参りました。また、2013年よりBtoC事業（飲食事業）も展開しています。

スマスタの3つの事業領域



業務内容：ソーシャルデザイン業

ソリューション：プロジェクト、コンテンツ、プログラム開発・再生における企画／マネジメント／コンセプトデザイン／CI／VI／グラフィックデザイン／webサイト制作／映像制作／店舗プロデュース／商品開発／PR／社会的課題へのアプローチに向けたプログラム構築・運営

THE SOCIAL DESIGN COMPANY スマスタ

名称	NPO 法人スマイルスタイル
設立	平成 20 年 12 月 25 日
代表理事	塩山 諒 Ryo Shioyama
理事	島田 彩 Aya Shimada 箭野 美里 Misato Yano
監事	烏野 佳子 Yoshiko Karasuno
社員人数	20 人
業務内容	ソーシャルデザイン業
所在地	〒 550-0004 大阪府大阪市西区鞠本町 1-16-14
アクセス	地下鉄四つ橋線または中央線「本町駅」28 番出口より徒歩 5 分
Tel	06 - 6147 - 3285
Fax	06 - 7878 - 6525
Mail	info@smilestyle.jp



2007年 スマスタ 活動スタート ソーシャルビジネスプランコンペ「edge2008」奨励賞受賞

「ごみひろい」



まちの景観を変えるアートなごみひろくろをつかって、主に 20~30 代の若者がまちの清掃活動をおこなっています。学校や会社帰りに参加できる地域チーム別のごみひろいの他、オールナイトごみひろい・無人島ごみひろいなどのイベント型ごみひろいも。軍手さえあれば誰でも気軽に参加できるカジュアルな活動は、「なにかしたい」と考える若者たちのコミュニティとなり、現在は社会人基礎力養成を目指す若者に提供するプログラムとしての機能を果たすまでもなっています。

累計参加者数：のべおよそ 8000 人
 地域チーム数：3 チーム（アメリカ村チーム・池田チーム・尼崎チーム / 2014.9 現在）
 実施エリア：難波・梅田等繁華街周辺（オールナイトごみひろい）、和歌山県 友ヶ島（無人島ごみひろい）

「今日だけは、ぼくの公園プロジェクト」

アメリカ村三角公園を 1 日だけ“自分の公園”にできる、地域活性・アーティストの表現の場創出プロジェクト。笑顔写真家・平井ケイスケが写真展を行えば「平井公園」と、アーティストの名前が公園の名前になることも話題を生みました。



2008年 スマスタ 法人化

「ユメコラボ」 夢ある人を応援する「もっと家」(CB コンペ) グランプリ受賞

「ユメのオリンピック」をコンセプトに、地域活性・社会的課題解決につながる「もっとこうなったらいいのにな」という個人・団体のユメを、様々なコラボレーションを通じて応援・実現させていくプロジェクト。応援クリックや応援物資の提供など web を通じた応援や、様々な企業様とのコラボレーション企画を通じたリアルでの応援で、ユメをもった人（ユメニスト）のユメを実現させます。ユメの実現が、地域活性・社会的課題解決につながり、新しいマーケットやステークホルダー同士のネットワーク構築などの価値を創出します。



2009年 大阪府・大阪市「CB プランコンペおおさか」グランプリ受賞

「まちときどきカエル」

児童が、社会起業家やまちの課題を解決した人々の事例を学び、自分たちの住むまちの魅力を見つめ直したり、「もっとこうなったらいいな」という課題を見つけ、その解決のために行動するキャリア教育プログラム。多くの大人やまちに触れ合う中で、自ら問題に気づき、考え、解決のために行動する実践力を身につけることで、社会と仕事と自分自身の関係性を考え、将来の生き方や進路をよりよく選択していく力を身につけます。大阪府の重点分野雇用創出基金事業 小学校・家庭・地域連携型ニート予防事業としてスタートし、大阪府内の 50 箇所の小学校(5 日間実施校 10 校 / 1 日実施校 40 校)で実施しました。2012 年・2013 年は、日本コカ・コーラ(株)「い・ろ・は・す “地元の水” 応援プロジェクト」の助成で運営しました。



2011年

「レイブル応援プロジェクト 大阪一丸」 →P.7 へ

企業ブランディング「ロイヤルオモテナシー」 →P.27 へ

本団体の活動「ごみひろい」を題材にしたドラマ「ハジメノイツポ」(テレビ大阪) 放映 大阪府「おおさかカンヴァス推進事業」審査員就任(代表・塩山)

2012年

企業ブランディング「LIVELOCAL?」 →P.28 へ

「かぎかっこ PROJECT」 →P.29 へ

2013年

「ハローライフ」 →P.15 へ

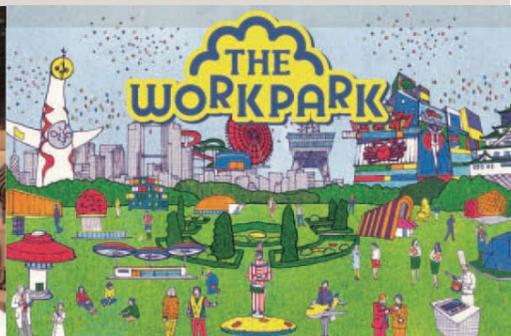


2014年

ワークサポート施設 ハローライフ GOOD DESIGN AWARD 2014 受賞
 教育プログラム いしのまきカフェ「 」 GOOD DESIGN AWARD 2014 受賞

レイブル応援プロジェクト 大阪一丸

クライアント：大阪府 テーマ：若者就労支援



背景

ニート状態の若者は、全国で61万7000人、大阪府には約4万3000人とされています。一般的にニートは、その言葉のイメージから「学校にもいかず、働きもしない怠け者」という社会の偏見が根強く、職業的自立がさらに困難になっているという現状があります。しかし、ニート状態の若者を支援する施設「大阪府若者サポートステーション」の登録者の8割以上に就業経験があり、職場で傷ついて退職したのを機にニート状態が長期化しているケースも少なくありません。実際にニートの中には働く意志を持ち、就職に向けて行動を起こしている若者が数多く存在しています。「就職活動がうまくいかず傷ついてしまった」「一旦就職したが職場になじめなかった」など、コミュニケーションが苦手だったり、社会的スキルが低かったりと実態は様々ですが、理解や適切な支援等により自立と企業貢献を実現できる若者です。いきいきと働いて自立し、社会を支えるべき若者がニート状態にある問題は、経済・社会環境の変化に起因するもの。若者個人だけでなく全ての人に関わる社会全体の問題として、この問題を考え、取り組むべきだと考えています。

概要

ニートの中で働く意志を持ち、行動を起こしている若者のことをレイブル (late bloomer=遅咲き) と提唱し、約3年の年月をかけ自立支援・広報企画を通じ応援。事業終了後も、大阪府の恒常的支援につながっています。

1. 新呼称の開発

「怠け者」というイメージの強いニート。働く意志を持ち行動を起こしているニート状態の若者を「レイブル (late bloomer=遅咲き)」と名付け、彼らの実態を正しく世間に伝えることで、「ニート」という言葉からくるイメージの一人歩きに歯止めをかけることを試みました。単なる名称の開発ではなく、この社会の現状をみんなで考え変えていくべきものであると表現し、投げかけたことにも大きな意義を持っています。



2. 各種広報ツール制作

レイブルの実態を正しく発信し、応援気運を創出するため、以下の各種広報ツールを制作しました。
大阪一丸 web サイト、CM、ポスター、レイブル応援号外新聞、民生委員向けひきこもり脱出支援ガイドブック



ポスター掲示場所

JR 大阪駅構内をはじめとする 10 箇所

CM 放送場所

関西テレビ・阪急 BIGMAN 前ビジョン・JR 大阪駅桜橋口 地下コリドーマルチ8・タクシー内ビジョンをはじめとする 全 8 箇所

レイブル応援号外新聞の配布

レイブル：83名
(男性 56名・女性 27名)
運営スタッフ：16名
配布部数：30,000 部配布



配布場所：梅田大丸前 (水の時計前)
元中央郵便局南東角・大阪駅前交差点南詰・大阪丸ビル北側・新阪急ビル南東角・曽根崎警察署西側・ハッピーナビオ前・阪急百貨店南西側

3. ラジオ番組放送

FM OSAKA 「コミュニケーションスマイル」 2011年10月～2012年3月 レイブルを応援する番組

FM COCOLO 「WORKER'S TIMES」 2012年12月～2013年3月 若手社員の定着・人材化に悩む中高年向け

4. 大阪ニート100人会議

ニート状態の若者およそ100名が一堂に介し、レイブルの新たな就労モデルを検討しました。挙げた意見やアイデアは、後の支援者や企業による就労モデル検討会議に活かされ、「大阪レイブル超就活」の実施に至りました。2012年には、「三都市レイブル100人会議」として東京・大阪・名古屋で、2013年には、「ワカモノ100人会議」として東京・大阪・名古屋・札幌・福岡の5都市で同日開催しました。



5. webコンテンツ

レイブル特別緊急生放送 「レイブル」の真意や実態を正しく伝えるためのネット番組

新呼称「レイブル」という新呼称や、「ニート」や「レイブル」への正しい理解を深め彼らへの支援の在り方をともに考え応援する気運を生み出すために急遽行われたインターネット番組。

出演者：
[MC] シンガーソングライター 松田陽子氏
[有識者] 大阪大学非常勤講師 井手草平氏
[支援団体] NPO 法人青少年自立支援施設 淡路プラッツ代表 田中俊英氏
[支援団体] NPO 法人トイボックス代表 白井智子氏
[運営団体] NPO 法人スマイルスタイル代表 塩山諒氏
[大阪府] 大阪府雇用対策課総括主査 山本恭一氏
(出演者の所属等は、2012年2月時点のものとする)



「おまかせ！レイブルズ！」 職場体験コンテンツ



大阪ニート100人会議で提案されたレイブル自らがPRを実施する「レイブルスター」から生まれたコンテンツです。3名のレイブルユニット「レイブルズ」が一般募集した仕事依頼を解決。実際の仕事への取り組みを通じてレイブルの理解を促進するプロジェクトとなりました。

6. トーク & LIVE ~この笑えないまちに、本当の笑いを~

レイブルの実態を企業・府民に正しく伝え、「若者が働きやすい大阪づくり」を考えるシンポジウム型イベント。新呼称「レイブル」という新呼称や、「ニート」や「レイブル」への正しい理解を深め彼らへの支援の在り方をともに考え応援する気運を生み出すために行われた。

出演者：
[MC] シンガーソングライター 松田陽子氏
[有識者] 大阪大学非常勤講師 井手草平氏
[支援団体] NPO 法人青少年自立支援施設 淡路プラッツ代表 田中俊英氏
[支援団体] NPO 法人トイボックス代表 白井智子氏
[運営団体] NPO 法人スマイルスタイル代表 塩山諒氏
[大阪府] 大阪府雇用対策課総括主査 山本恭一氏
(出演者の所属等は、2012年2月時点のものとする)



7. 若者応援団の結成

レイブルを応援し、理解を呼びかける著名人ネットワークを構築し、応援気運の創出を図りました。

[応援団一覧]
U.K.<くっすん>(DJ・タレント) / 稲垣早希(芸人) / 澤田秀雄(株式会社エイチ・アイ・エス 代表取締役会長) / 角 淳一(フリーアナウンサー) / なだぎ武(芸人) / あべこうじ(芸人) / ピコ(アーティスト) / 松田 陽子(シンガーソングライター) / 南野 陽子(女優) / 藤崎マーケット(芸人) / はんにゃ(芸人) / 宇都宮まき(芸人)
他 計48名



7. 大阪レイブル超就活 企業共同型就労支援プログラム

大阪府内の一般企業および介護事業所と連携し、2週間～1ヶ月のインターンシップ（職場体験）を経て、就労をねらう支援プログラム。大阪ニート100人会議で挙げた若者たちの声が活かされ、プログラムの開発となりました。参加したレイブルたちは、企業やコーディネーターと面談し、その後「働くテクニック講座」を受講。自分の長所や短所（凸凹）を対話やグループワークを通じて取りまとめ（自己取り扱い説明書）、職場体験を実施。2012年度は、一般企業への就職を目指す一般企業コースと、ホームヘルパー2級または重度訪問介護従業者の資格の資格取得をした上での就職を目指す介護事業コースの2コースを実施。2013年度は、一般企業コースのみ実施しました。

2012年度・実施スケジュール

2012/7/13～8/31	プログラム参加希望者の登録開始、希望する企業を申請
2012/9/3～9/6	参画企業が参加希望者に対し、面談を実施
2012/9/7～9/9	本人への結果通知
2012/9/10～9/14	大阪一丸が参加者に対し、社会人基礎力養成プログラム「働くテクニック5days講座」を実施
2012/9/18～10/18	企業での職場体験
2012/10/19	超就活卒業式を開催
2012/10/20～	大阪一丸より参加者へ、採否結果の通知



2013年度・実施スケジュール

2012/10/1～17	プログラム参加希望者の登録開始、希望する企業を申請
2012/10/21～23	参画企業が参加希望者に対し、面談を実施
2012/10/24～25	本人への結果通知
2012/10/30～11/1	大阪一丸が参加者に対し、社会人基礎力養成プログラム「働くテクニック3days講座」を実施
2012/11/5～15	企業での職場体験
2012/11/16	超就活卒業式を開催
2012/11/18～20	大阪一丸より参加者へ、採否結果の通知



参画企業

千房株式会社/株式会社ユー・エス・ジェイ/株式会社古市庵/イケア・ジャパン株式会社/有限会社アラカワワーク/水間鉄道株式会社/株式会社ミヤタ/株式会社マイファーム/株式会社と・らいず/株式会社 JK Corporation / 神谷機工株式会社 / 株式会社メディプラン/株式会社シーズクリエイト/ChatWork Academy 株式会社/株式会社 RE-JAPAN

2012年度就労数

<一般企業コース>	<介護事業コース>
職場体験：25名	受講：29名
就職：16名	就職：17名

2013年度就労数

職場体験：15名
就職：5名

8. 次世代ワークスタイル研究所

「働きやすい職場環境」をテーマに様々な企業や個人が実践している取り組みを調査し、働きたいという意志を持ち行動を起こしている若者の就労の活性に取り組むプロジェクトとしてスタートしました。

調査研究会

- 1) 働きやすい職場環境づくりを実践している企業（次世代カンパニー）の調査研究
- 2) 若者の職場定着と企業成長の関係性についての調査研究
- 3) 離職する若者の傾向と実態、その解決に向けた企業の取り組みの調査研究

普及・啓発活動

- 1) 先進的な取り組みをする企業の調査研究レポートの作成と、実践ノウハウのオープンソース化および蓄積
- 2) 企業経営者・マネージャー層向けの調査研究イベント・その他イベントの実施
- 3) 企業コンサルティング

次世代ワークスタイル研究調査会 2012/12/11

「『従業員は家族』『元受刑者採用』千房の経営理念・雇用理念を徹底解剖！」

千房株式会社 代表取締役 中井政嗣氏

参加者数：73名



次世代ワークスタイル研究シンポジウム 2013/02/10

「日本で一番“社員が辞めない”会社のつくりかた。」

東京大学大学院 教授 本田由紀氏

ChatWork 株式会社 代表取締役 山本敏行氏

参加者数：98名



次世代ワークスタイル研究調査会（府事業外） 2013/05/15

「全社員完全自由出勤。残業ゼロ、ワークシェア。」

株式会社エス・アイ 代表取締役 今本茂男氏

参加者数：17名



次世代ワークスタイル研究シンポジウム 2014/02/08

「企業成長のカギは、若者にアリ。」

NPO 法人育て上げネット 理事長 工藤啓氏「わたしたちが知っておくべき、若者の真実」

東京大学大学院 教授 本田由紀氏

「日本社会の変容と若者雇用において求められる社会の在り方」

認定 NPO 法人フローレンス 事務局長 宮崎真理子氏「企業成長を導く“働き方革命”」



9. THE WORK PARK

大阪のまち全体をテーマパークに見立てた、職場体験・ディスカッションイベント。働きたいという意志をもち行動を起こしている若者の就労・就業を、企業共同・府民参加型で応援していく広報企画として、就職活動について悩みを持つ若者や学生を対象に、「働く」を体感する仕事体験イベント“バビリオン”と、「働く」を考えるディスカッションイベント“ラボ”の2日間のイベントを実施。“バビリオン”では、大阪に拠点をもつ50の企業でおよそ100名の若者が仕事体験し、若者の仕事・業種研究、職業観醸成の機会を創出しました。ディスカッションイベント“ラボ”は、札幌・東京・名古屋・大阪・福岡の全5都市で同日開催(前述)。大阪会場では、『ほくらと会社の「ホワイト関係」化計画』をテーマに、企業と若者の良好な労使関係についてディスカッションを行いました。

今後の展開

「レイブル応援プロジェクト大阪一丸」は、若者への支援だけではなく、若者と企業・雇う側と雇われる側がウインウイン(双方のしあわせにつながる)になる「ホワイト関係」を目指すまでに至りました。その中で本プロジェクトの取り組みそのものが、「イベント＝一時的なその場限りの取り組み」ではなく「いつでも社会全体で行われている恒常的なもの」でなければならないとの考えから、2013年5月に本プロジェクトで培ったノウハウを導入した独自(スマスタ自主事業)の就労・就業支援施設「ハローライフ」を開設しました。今後もハローライフを拠点に、求人情報の紹介・求職者のスキルアップイベントの開催や、企業に向けては若者が定着する職場環境づくりのための企業コンサルティングの提供など、恒常的に若者・企業への支援を行い、誰もがいきいきと働き・働き続けられる社会環境づくりを展開していきたいと考えています。

参画企業

(株)ABCクラフト あべのキューズモール店 / 矢野紙器(株) ダンボール製造事業部 / coco-hand work shoes- / 株式会社福市・LOVE&SENSE / なにわ小町 / NPO法人JAE / 特定非営利活動法人HomedoorHomedoor / 株式会社ウイングル / 大阪梅田センター / インフォショップ・カフェ ココローム

一般財団法人 大阪労働協会 / FACTO / 大阪府立江之子島文化芸術創造センター / 特定非営利活動法人サービスグラント / NPO法人チュラキューブ / 子ども・青少年育成支援協会 / あすはな先生 / 学校法人山口学園 ECC 社会貢献センター & 学生相談室本部 / OSAKA しごとフィールド / shirokuro / 株式会社 RE:JAPAN / NPO法人スマイルスタイル / NPO法人 Deep people / ヤフー株式会社 / 株式会社 Gyao / CEMENT PRODUCE DESIGN / 株式会社 KADOKAWA 関西ウォーカー編集 / 株式会社ラブレ(なんば経済新聞) / 株式会社写真とプリント社 / 株式会社 PR リンク / 株式会社ナンバーバル / 株式会社人間 / FM802 / テレビ大阪株式会社 / 大阪日日新聞 / 一般社団法人ナレッジキャピタル / 串かつひろたか屋 / 株式会社やまと屋本店 / マッスルショップ / 吉本興業株式会社 なんばランド花月 / 株式会社隆祥館書店 / digmeout ART&DINER / 烏野利勝税理士事務所 / 弁護士法人あすなる あすなる法律事務所 / GRANADA(株式会社ロイヤル) / ROYALMAN Grooming(株式会社ロイヤル) / 西区役所 / 株式会社 BHF/FOR U(フォーユー) / BLANC CHOUETTE(ブランシュエット) / 飛行船スタイルショップ & 京町堀食堂ヒュッゲ / プレミアムファーマーズ森の小屋 / 本町マルシェ / 有限会社アートニクス / ミリバールシャトーダベイユ



参加人数：当日 73 名
(申し込み 77 名、キャンセル 4 名、
事前オリエンテーション 73 名)
男女比：男 36 名、女 37 名
年代：10代 2 名、20代 49 名、30代 22 名
所属別：就業中 15 名、アルバイト 9 名、
レイブル 31 名、学生 18 名
参画企業：50 社



背景

ニート状態の若者は、全国で61万7000人、大阪府には約4万3000人。いきいきと働いて自立し、社会を支えるべき若者がニート状態にある問題は、経済・社会環境の変化に起因するもので、若者個人だけでなく全ての人に関わる社会全体の問題です。ニートに限らず「働く」すべての人、多様な幅広い層とともに切り開いていく、新しい働き方や就労モデルを見つけ実践する中で、「しあわせを感じながら働く人」を多く輩出します。

概要

大阪府とともに2011年より実施してきた若者就労支援事業での研究や実践が起源となり、スマスタが2013年5月に独自開設した就労就業支援施設。職業安定所の民間版。若者就労・就業の現場で求められる理想の支援の在り方について、若者や企業、専門家など多くの方と議論や検討を重ね実現しました。「働く」「仕事」の情報発信基地として、働くことに前向きになれ、笑顔と活力につながる情報やサービスを展開しています。

成果

登録利用者数：564名
 就労者数：140名
 登録企業数：146社（公開・非公開含む）
 期間：2013年5月12日～2014年5月30日

1階 BOOK & CAFE

ハローライフの扉をあけると、働く人や仕事探し中の人の心が休まるホットした時間を提供する「都会の茶室」をコンセプトとした日本茶カフェスペース「CHASHITSU for worker」がお出迎えます。インテリジェンス機能として、200冊以上の「働く」「仕事」関係の本をストックしたライブラリーも。お茶やお菓子を楽しみながら、館内で自由に閲覧できます。



2階 WORK SUPPORT BOOTH (オシゴトサカソ)

コミュニティや場づくりを通じた就労支援サービスを提供。「面談」や「企業マッチング」などを主軸とする既存の就労支援の概念を覆し、マルチステークホルダーがプログラムやイベントに集まりネットワーク化・コミュニティ化することで、若者が仕事と巡りあう仕組み・社会づくりを目指しています。極力ミスマッチを発生させないためのきめ細やかな求人・職場体験情報もストック。



3階 GALLERY & EVENT SPACE

「働く」「仕事」に関するギャラリー企画展示、求職者向け社会人基礎力養成講座やキャリアスキルアップイベント、ファシリテーションプログラム等を実施。



4階 CHASHITSU factory (中間的就労)

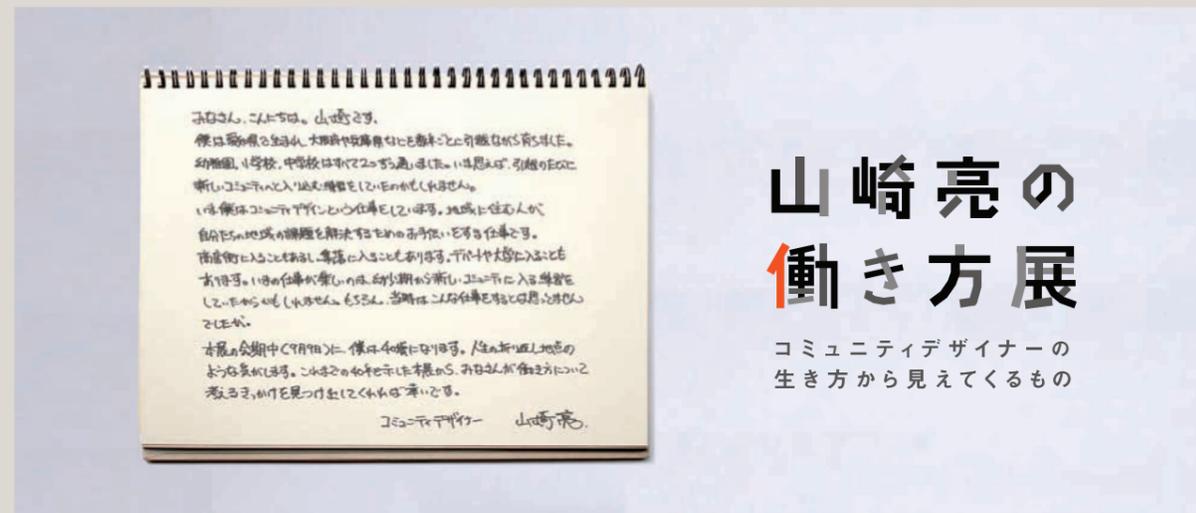
一般的な職業に就く「一般就労」をただちに目指すのが困難な人が、本格的な就労に向けた準備段階として、公的支援も受けながら、日常生活での自立や社会参加のために働くことができる就労機会を得る場。1FのCAFE 営業に必要な業務を担います。



1. 特集企画

今話題とされている仕事の中からひとつを取り上げ、そこで働く人々の仕事や生活に迫る、ハローライフ全館を活用した特集企画を定期開催しています。仕事探しを目的としながらハローライフに登録している若者のおよそ4割が、「自分がどんな仕事したいかわからない」「どんな仕事があるのか知らない」としており、仕事・業種研究、職業観醸成の機会創出が求められています。さまざまな業種の人と出会い、その仕事内容の実態に触れることができる機会や、自身の将来や就職活動に役立つ情報資源を提供することで、就労支援をすすめています。業界のありのままの魅力や厳しさを若者に届け、正しい職業観を持った若手の参入促進を図ります。

山崎亮の働き方展 - コミュニティデザイナーの生き方から見えてくるもの -



少子高齢化や遊休地の増加、商店街の衰退など、地域の問題や課題に対し、そこに住む人たちが自身の問題を発見し、自分たちの手で解決していけるようにサポートすることが「地域デザイン」という仕事です。関西に拠点をもつ地域デザイン・まちづくりなど、この分野で大きな注目を集める複数の企業・団体とコラボレーション。大きな目玉となるギャラリー展示では、「山崎亮の働き方展」と題し、地域デザインのトップランナーである山崎亮さんや studio-L の皆様の「働き方」「仕事」の実態にクローズアップした展示を開催。その他、コンテンツやイベントで地域デザインという仕事の魅力や実態を施設全体で力強く発信することで、若者の職業観育成・就労支援を展開しました。

1階 BOOK & CAFE

職業観拡大やインテリジェンス機能として設置している1F本棚に、地域デザイン・コミュニティデザインにまつわる書籍を集約。カフェスペース「CHASHITSU for worker」で、studio-L が馴染み深い地域の特産品使用のオリジナルメニュー（お茶やおむすび）を販売。

2階 WORK SUPPORT BOOTH

本特集を通じて地域デザイン、コミュニティデザインなどのまちづくりの仕事に興味をもった若者が応募できる地域デザインの求人を特集として公開。独自取材による求人情報を公開することで、ダイレクトに「仕事」として地域デザインにアクセスできます。ハローライフの就労支援員による、ワークサポートやマッチングも。また、ソーシャルデザインのヒントを発信するウェブマガジン「greenz.jp」とのコラボレーションでwebコンテンツ「ハローライフなひとびと」も展開。ハローライフ web サイトで求人情報を掲載する一方、greenz.jpにて参画企業内で働く人のリアルな暮らし方に関する記事を発信し連動企画としてより注目を集めました。

求人広告企業

街角企画 株式会社、NPO 法人 Co.to.hana、株式会社 E-DESIGN、株式会社 studio-L、場とコト LAB

3階 GALLERY & EVENT SPACE

「地域デザイン」「コミュニティデザイン」の分野で大きな注目を集める studio-L (スタジオエル)。代表の山崎亮さんや、そこで働く人の働き方や想い、仕事の実態を展示しました。山崎さんの人生を垣間見ることができる写真、尊敬する人の言葉や、コミュニティデザイナーという仕事を象徴する道具、アイデアノート、企画書、映像資料など多角的視点から構成されるツールを介して展示に参加することで、地域デザイン・コミュニティデザインという仕事を知り、考え、職業選択の幅を広げることができます。

開催イベント

- オープニングトークイベント「山崎亮さん！働いてなんですか？」& 夜の CHASHITSU for worker
- studio-L のスタッフさん同士のトークイベント「studio-L のホントのトコロ」
- studio-L のスタッフさんによる、お仕事探し中の方向けワークショップ
- クロージングトークイベント「山崎亮の一言一答！」



数字からみる職人の世界展



「30分で100枚の茶さじをつくる」など、日々決められた時間内でいかに完璧に仕上げるか」という時間感覚の中に身を置く、いわば「結果が全て」のアスリートに近い職業が「職人・ものづくり」の分野。1人前になるためには約10年かかるといわれており、長期間の下積み時代が存在します。今回の特集企画では、明治時代からある染めの技術を守り続けている「株式会社ナカニ」と、日本で一番古い技術をもつ手作り茶筒の老舗「株式会社開化堂」の協力を経て、ハローライフ3階ギャラリーにて「数字からみる職人の世界展」を実施。その他、コンテンツやイベントで職人・ものづくりの仕事の魅力や実態を施設全体で力強く発信することで、若者の職業観醸成・就労支援を展開しました。

1階 BOOK & CAFE

特集期間中、1Fの本棚には、職人・ものづくりの仕事にまつわる書籍を集約しました。カフェスペース「CHASHITSU for worker」では、創業300年の歴史をもつ株式会社中川政七商店で取り扱っている一口サイズのお菓子を販売しました。



2階 WORK SUPPORT BOOTH

本特集を通じて職人・ものづくりの仕事に興味をもった若者が応募できる職人の求人を特集として公開。独自取材による求人情報を公開することで、ダイレクトに「仕事」として職人にアクセスできます。ハローライフの就労支援員による、ワークサポートやマッチングも。また、ソーシャルデザインのヒントを発信するウェブマガジン「greenz.jp」(月間読者数15万人)とのコラボレーションでwebコンテンツ「ハローライフなひとびと」も展開。ハローライフwebサイトで求人情報を掲載する一方、greenz.jpにて参画企業内で働く人のリアルな暮らし方に関する記事を発信し連動企画としてより注目を集めました。



求人広告企業

神谷機工株式会社、MAEDA CRAFT 前田製箱株式会社、有限会社 松川調整所、株式会社ナカニ、株式会社開化堂、Mill・北の椅子と、sione、株式会社久宝金属製作所、若林株式会社、SOU・SOU、株式会社中川政七商店

3階 GALLERY & EVENT SPACE

明治時代に創業した注染手ぬぐいの「株式会社ナカニ」と、茶筒の老舗「株式会社開化堂」。伝統ある老舗で仕事に向き合い続ける職人の世界を、その難しさや重みとして表す「数字」で表現し、展示しました。1年で慣れる、3年でつくる、5年で挑戦する、10年で体得すると言われる職人の世界の奥深さと、全ての仕事に必要とされる「継続」という仕事への向き合い方を求職者に届け、リアルな職業観醸成や実態にそった業界研究の機会を提供しました。

開催イベント

- 手仕事の世界へようこそ 職人に聞く! THE1問1答
- 「石の上にも3年」のジメツに迫る? 職人3年生のホントのトコロ





福祉の現場では、厳しい・汚い・給料が安いなどのマイナスイメージが先行し、慢性的な人材不足や離職率の高さが深刻化しています。また近年、福祉の仕事へのニーズは拡大・多様化しています。福祉制度の対象となる人だけではなく、制度の対象にならなくても地域社会での暮らしに生きづらさを抱える人たちも増えてきている社会において、業界を支える若手人材の確保と、彼らがキャリアを形成することができる環境づくりが大変重要になってきています。本当のやりがい、既成概念にとられない様々な新しい福祉のカたち、今必要な福祉業界のビジョン等を、若者（主に大学生世代・就活生）をターゲットに福祉業界のリアルを発信し、正しい職業観をもった若者の業界参入をねらいました。

1階 BOOK & CAFE

特集期間中、1Fの本棚に、福祉の歴史やトレンドにまつわる書籍や、福祉団体からの推薦本を集約。カフェスペース「CHASHITSU for worker」では、特集求人企業の福祉事業所でつくられたお菓子をコラボ販売しました。



2階 WORK SUPPORT BOOTH

本特集を通じて職人・福祉の仕事に興味をもった若者が応募できる福祉の求人の特集として公開。独自取材による求人情報を公開することで、ダイレクトに「仕事」として職人にアクセスできます。ハローライフの就労支援員による、ワークサポートやマッチングも。また、ソーシャルデザインのヒントを発信するウェブマガジン「greenz.jp」(月間読者数 15万人)とのコラボレーションで web コンテンツ「ハローライフなひとびと」も展開。ハローライフ HP で求人情報を掲載する一方、greenz.jp にて参画企業内で働く人のリアルな暮らし方に関する記事を発信し連動企画としてより注目を集めました。

求人広告企業

NPO法人 み・らいず、社会福祉法人 ゆうゆう、NPO法人 ワークスみらい高知、株式会社 ミライロ、NPO法人 しゃらく、NPO法人 楽笑、株式会社 サンフェイス、NPO法人 中部障害者解放センター、NPO法人 風と月と、社会福祉法人 わたぼうしの会、ダイアログ・イン・ザ・ダーク、社会福祉法人 つながり



3階 GALLERY & EVENT SPACE

福祉の“最先端”をかたちづくる5団体を「福祉界の新惑星」とし、フロア全体を「宇宙空間」として演出。「福祉の“最先端”とは」や、各団体が思い描く未来をダイナミックに展示しました。また、話題の「謎解きゲーム」と「福祉」がコラボレーション。展示空間の中に「福祉」にまつわる謎解きクイズを散りばめ、福祉に詳しくない人やお子様も、点字や手話、そして福祉の「未来」に触れ合いながら、楽しく学べる仕掛けを施しました。

開催イベント

- ゲストが福祉の“最先端”を語る! 「湯浅誠 × 家入一真 トークセッション」
- なぜ福祉を続けて来られたか? OB・OG がセキララトーク「福祉のから騒ぎナイト!」
- やりたい福祉を実現する! 就活に役立つ「自分シートづくりワークショップ」
- ポップコーンにコーラ付! まるで映画のような福祉就職説明会「THE FUKUSHI 就活 SHOW!!」



The Work - Music Project -

クライアント:日本センチュリー交響楽団 助成:一般財団法人おおさが創造千島財団 協力:大阪府立江之子島文化芸術創造センター enoco(西区江之子島)
 テーマ:オーケストラの新たな芸術価値創造、若者就労支援



背景

国の第3次基本方針に「教育、福祉、まちづくり、観光、産業等周辺領域への波及効果」「コミュニケーション教育」「社会的便益を有する公共財であり社会包摂の機能をもつ」と明記され、また大阪府市文化振興会議においても「「芸術のための芸術」から「社会のための芸術」へのシフトという潮流の中、芸術家・芸術団体は持てる能力・ノウハウを福祉・医療・教育・まちづくり・観光などの他分野に活かすことが求められている。」と提案されているように、社会全体からのオーケストラへの要求は多様化しています。



概要

スマスタが運営するハローライフを利用する、働きたいという意志を持ち行動を起こすものの就労に至っていない若者を参加対象としました。同じ立場の仲間や様々な社会人との共同作業・共同体験は、自信を失っている若者への大きな効果が期待されます。ひとつの音楽作品をつくりあげる過程を通じて、自身の就労や暮らしに必要な社会人基礎力を身につける体験型プログラムを提案・実施しました。最終日の7月6日には大阪駅南ゲート広場での発表イベントを開催し、大盛況となりました。



若者と楽団員による音楽作品制作

日本センチュリー交響楽団とハローライフのコラボレーションから生まれた、新たな芸術価値創造・若者就労応援プログラムです。オーケストラ楽団員、若者就労支援員が、楽器や身近な生活雑貨などを用いた音楽作品創作、発表イベントを実施。およそ3ヶ月間の体験プログラムの中で、若者のよりよい暮らし

や就労につながる社会人基礎力を養成しました。プログラム終了後は、若者自身の希望をヒアリングし、ハローライフで就労・就業支援を実施していきます。楽団員も参画し、芸術家と聴衆の間の共有にとどまらない、オーケストラの新たな社会的価値創造を目指しました。

あそぶ(遊戯) 2014.04.08(火) 18:30-20:30 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

さがす(発案) 2014.04.21(月) 18:30-20:30 センチュリー・オーケストラハウス

ずらす(逸脱) 2014.05.09(金) 18:30-20:30 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

まぜる(交差) 2014.05.30(金) 18:30-20:30 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

みがく(調整) 2014.06.13(金) 18:30-20:30 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

かたる(言語化) 2014.06.27(金) 18:30-20:30 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

まじわる(発表) 2014.07.06(日) 15:30-16:00 JR大阪駅/大阪ステーションシティ南ゲート広場にて発表イベント

CHASHITSU for worker & CHASHITSU factory

テーマ：若者就労支援・中間的就労の場づくり



概要 CHASHITSU for worker

働く・仕事の情報発信、就労就業支援を実施する仕事ライブラリー「ハローライフ」内に構える、ワーカーのための日本茶カフェ。体のダルさや頭のモヤモヤなど、仕事や就職活動につきものの疲れをリフレッシュする、おいしい日本茶やハーブティー、フードを提供しています。効能にこだわりながら、希少価値の高い茶葉で淹れたお茶をカジュアルに楽しむことができる、自慢のラインナップです。

日本の美意識を表現した、鉄と畳で構成されたキューブ型のカフェスペースは、空間に対して心地良く絶妙な違和感とインパクトを与えます。窓から眺めることのできる大きな公園風景を借景とし、茶室の露地（庭園）に見立てました。CHASHITSU for worker は、あらゆる人の雇用をうむ場所になることを目標としています。

ここでずっと働き続けることができる人が生まれるのももちろん、この場所がひとつのキャリアアップの機会となり社会で活躍できる人が生まれるよう「ハローライフ」や「CHASHITSU factory」とも密接な関係となっています。



概要 CHASHITSU factory

ワークサポート施設「ハローライフ」1階にある日本茶カフェ「CHASHITSU for worker」で販売する和菓子やお茶などの商品製造過程において、さまざまな経験を積むことで、就労を目指す若者が必要なスキルや社会人基礎力を身につける工場（サポートプログラム）です。

一人ひとりのニーズや適性に合わせた目標・サポート内容を設定し、およそ3ヶ月を1クールとして実施しながら、スタッフや仲間と一緒に就労に向けて少しずつステップアップしていきます。

[ファクトリー生（2014年10月現在）1期終了時点]

- 受け入れ人数 10名
- 男女比 6:4
- 年齢 平均 27.1歳
- 就労数（進路） 5名

（雇用形態の内訳：アルバイト4名、派遣社員1名）

就労が決まらなかった5名のうち、3名は継続フォローを希望。



企業ブランディング ロイヤルオモテナシー

クライアント：株式会社ロイヤル コーポレートブランディング（企画・プランニング、ブランド戦略立案と実施）、
ツール制作（スローガン・ロゴ・タブロイド新聞・名刺・ショップカード・封筒・スタッフ手帳）



ロイヤルは、最上級のおもてなしをもって、
お客様に感動を提供し続けます。

感動への一歩宣言 www.r-royal.com



企業ブランディング LIVELOCAL?

クライアント：NPO 法人み・らいず
コーポレートブランディング（企画・プランニング、ブランド戦略立案と実施）、ツール制作（スローガン・ロゴ・名刺・パンフレット・封筒・web サイト）



概要

関西において理容室・美容室を展開する株式会社ロイヤルにて、スタッフ間における経営理念の更なる浸透や、同じ目標を持ったチームづくり、顧客へのサービスの質の向上を目指し、コーポレートブランディングを実施しました。

離職率の高い職業とも言える理美容業界。夢をもって入ってくる若者が多く、社会的側面から見ても、その環境が整備されていない現状があります。

そこで、他の業界と引けを取らない環境や待遇、仕事への充実度を実現させたいというロイヤルの想いから本プロジェクトが誕生。まずは幹部クラスから新入社員までが、ロイヤルのスタッフの在るべき姿をスタッフ自身が洗い出す「ロイヤルミライ会議」を実施しました。そこで拳がった声から明確となった、顧客への「おもてなしの心」と、社名が意味する「最上級の」を掛け合わせ、スローガン「ロイヤルオモテナシー」を提案。ロイヤルが向かうべき羅針盤として発表し、各ツールのトータルデザインに反映しました。



概要

障がいのある人・発達障害や不登校や引きこもりの子どもたち、高齢者への支援を行う NPO 法人み・らいずが目指す「しあわせ」の意味を、内外に正しく発信するため、新たなコーポレートブランドを、ファシリテーションプログラムにより社員参加型で作りしました。

学生スタッフから理事メンバーまで幅広い世代が意見交換し、「み・らいずという団体が存在する理由はなにか」「目指すべき社会像」などを抽出。そして、長年の支援の現場から再確認された「地域（LOCAL）であたりまえに生きる（LIVE）」というみ・らいずにとってのしあわせの形を「LIVELOCAL?」というスローガン（造語）で表現しました。

最後に「？」で締めくくったのは、迷ったとき、意見がぶつかりあったとき、それがLIVELOCALにつながっているか、スタッフや社会に常に問い続けていこうという意思表示。み・らいずが実現する理想のまちの未来図の上で、あたりまえのような格好で暮らしている人をロゴマークに採用しました。



かぎかっこ PROJECT

クライアント：フィリップ モリス ジャパン株式会社、公益財団法人日本財団（高校生がつくる いしのまきカフェ「 」） 復興庁（仕事みち図鑑）
テーマ：高校生対象キャリア教育



背景

高校卒業後の地元就職率・進学率が低い宮城県石巻市。東日本大震災以前より社会体験の機会や地域との接点が少ない高校生たちの「地元離れ」は、震災後、地元企業の求人数減少にともない追い打ちを掛け、プロジェクト発足当時は約75%となっていました。（ほとんどの高校生が卒業後、市外へ流出）これからのまちの未来を担う彼らが、より強い地元とのつながりを持って社会に羽ばたけるように、本プロジェクトがスタートしました。

概要

高校生が今自分に必要な力とは何かを考えることからスタートし、彼ら自身がゼロから主体的に学ぶ機会をつくります。そして、厳しい状況下でも、たくましく創造的に「生き抜く」力を高校生から養成。将来まちを担う人材となって社会へ巣立つためのさまざまな取り組みを地域の人々や高校生自身と一緒に生み出し、継続の仕組みを地元へと残していくプロジェクトです。
本プロジェクトでは、社会に一步踏み出している高校生世代に対し、彼らを育て地域とのつながりを持つ機会や、生きがい・働きがいを感じる機会、そして彼らがこれから生きる上で対面する様々な課題を自分ごととして捉え、取り組むための力が必要だと考えています。

1. いしのまきカフェ「 」

クライアント：フィリップ モリス ジャパン株式会社、
公益財団法人日本財団、復興庁（※）

助成：宮城県（みやぎ地域復興支援助成金）

※本プロジェクトは当初、フィリップ モリス ジャパン株式会社の支援を受けて、日本財団とNPO法人3団体の協働による企画・運営にてはじまりました。現在は、復興庁の「新しい東北」先導モデル事業として採択され、事業をより充実・発展させていくことを目指して取り組んでいます。



宮城県石巻市の高校生たちが、地元資源の活用や、地域の人々の協力のもと、ゼロからのカフェづくり・ワークショップを通して、リアルな社会体験を得るプロジェクト。高校生は、地産地消に基づいた商品開発、営業、空間・イベントづくり、情報発信などを介して、主体的に地域の魅力発掘や発信を行い、課題発見力や課題解決力を身につけます。そして近い将来、まちの担い手としてその力を発揮していくことを目的としています。

「カフェづくり」は調理・接客・会計などの他にも、商品開発、イベント開催、情報発信など、多様な社会的体験を得られる形態。地元企業・産業などのコラボレーションを経ることで、職業観醸成、「生きがい・働きがい」を考える機会創出、ひいては地元就職率増加や地元雇用の創出も見込んでいます。そして、このプロジェクトが地元へ根ざし、「高校生がまちを元気にしながら、生き抜く力を身につける次世代の教育モデル」として、全国の教育現場で活用されることを目指しています。



- 登録高校生数 64人（※主に土・日・祝日に活動）
- 参加高校生の所属高校数 12校
石巻高校、石巻北高校、石巻工業高校、石巻好文館高校、石巻商業高校、石巻市立女子高校、石巻西高校、女川高校、東松島高校、美田園高校、宮城県水産高校、宮城野高校
- カフェ体験会参加高校生数 9人
- 交流ワークショップ参加高校生数 のべ350人程度（全国各地の他地域より訪問）
- 活動協力企業・団体数 35団体
- 活動協力教育機関数 21団体

2012年6月、様々な学校から、合計約40名の高校生が集まり、カフェづくりがスタート。すべてをゼロからおこなうため、真っ白な空間以外、メニューも何もありません。店名も「 」(かぎかっこ)と空けてありました。商品開発・空間デザイン・情報発信の3チームで役割分担し、それぞれ専門家のアドバイスを受けながら、また、まちの人々とコラボしながらカフェをつくっていきます。そして同年11月3日、石巻市役所1階にカフェがオープン。彼らが決めたコンセプトは「まちを元気にする場所」。店名は、何でも入る可能性や個性、原点のワクワクを大切にしたいという高校生の思いから、「 」のままに。その後も、店舗スタッフとして就業体験を積み、高校生にとって、学校やバイトでは体験できない学びの場、そしてこのまちを元気にする新しい名所として、カフェづくりは続き、成長していきます。

カフェで生まれた店舗メニュー（一部）

商品は地産地消や、「コミュニケーションを生むかどうか」に基づいて開発され、収益は活動資金に。開発の際には、生産者や関係企業のもとへ足を運び、地元企業・団体と協働で事業を進めます。

食材や開発に関することだけでなく、今の仕事について背景や目標、業界の課題などもヒアリングし、時には体験学習も。これまで、米農家、女性漁業士、料理研究家、水産加工会社、果菜農家、木工工房、陶芸家など、様々な業種の大人とともにカフェづくりをしてきました。



おみやげ用 缶詰 / レトルトカレー

株式会社木の屋石巻水産株式会社とのコラボレーションで生まれた、地元の特産物・くじら大和煮の缶詰。ラベルを高校生がデザインしました。レトルトカレーは、「みんなの夢 AWARD3」という夢のプレゼンテーション大会を経て、株式会社ヤマトミ、ハウス食品株式会社とのコラボレーションで誕生。約1年半かけて開発された、石巻の海の幸が詰まった一品です。現地のおみやげはもちろん、出張イベントでの販売でも大好評をいただいています。



2. 仕事みち図鑑

宮城県石巻市における、高校生の声から生まれた、「働き方・生き方」を体感するキャリア教育プログラムです。高校生がワークショップを通して、自己分析や事前学習を経た後、フィールドワークに出発。そこで出会った人にインタビューをおこない、「仕事」にまつわる話を聞き出します。その後、その人職場を訪ね、思ってもみなかった仕事の現場も経験。出会った人々の写真と言葉など、発掘したものは「図鑑」にまとめ、発表方法も独自に企画。地域の人々を招待し、展示発表会を開催します。

2013年12月、高校生たちと「仕事」や「働く」をテーマに、理想の授業を考える作戦会議を実施しました。「まずは世の中

にどんな仕事があるのか知りたい」「生の声を聞き、体感したい」「好奇心や創造力を磨きたい」「いろんな人の考え方と触れ合いたい！」など職業観醸成にまつわる意見を数多く集約することができました。それらの声と、学校や地元企業の意見も合わせ、本プロジェクトのワークショッププログラムを構築。地元企業・産業と触れ合うことで、職業観醸成、「生きがい・働きがい」を考える機会創出、ひいては地元就職率増加や地元雇用の創出も見込んでいます。近い将来このプロジェクトが地元で根ざし、「高校生がまちを元気にしながら、生き抜く力を身につけていく次世代の教育モデル」として、全国の教育現場で活用されることを目指しています。



ワークショップの開催

- 高校生サミット（プロジェクト企画会議ワークショップ）
2013年12/8（5時間）
- 第1回ワークショップ（オリエンテーション、自己分析）
2014年2/11、3/06（各5時間）
- 第2回ワークショップ（インタビュー練習、カメラワーク）
2014年2/27、3/06（各5時間）
- 第3回ワークショップ（フィールドワーク）
2014年3/09、3/12、3/13（各5時間）
- 第4回ワークショップ（図鑑づくり、成果発表会）
2014年3/15、3/17（各3時間）

- 参加高校生数
高校生サミット 23人/第1回~3回 各12名
第4回 40名（発表者、視聴者合わせ）

- 参加高校数：11校
宮城県石巻高校、石巻市立女子高校、宮城県宮城野高校、宮城県石巻西高校、宮城県女川高校、宮城県石巻工業高校、宮城県涌谷高校、宮城県常盤木学園高校、St.Christopher's School、山形県立新庄南高校

- 活動協力企業・団体数
7団体（ヒアリング）、11団体（インタビュー）

- 活動協力学校数 6校
（ヒアリング・告知チラシ配布ご協力）

カリキュラムブックの開発

「仕事みち図鑑」では、教科書でもノートでもないオリジナルのカリキュラムブックを制作。一つひとつの過程を踏んで記入していくと、自分だけの「仕事みち図鑑」が完成する構成です。さらに、カリキュラムブックには専門家の監修による「効果測定シート」も挿入。自分の目標やそのために必要なこと、プログラムを受ける前後の自分の変化を、数字や言葉で可視化します。

（配布先：宮城県内の各高等学校、石巻市教育委員会、石巻市内各高等学校、インタビュー先企業・団体、かぎかつこPROJECT参加高校生、その他関係団体）

カリキュラムブックの「効果測定シート」では、社会人基礎力の3つの力「前に踏み出す」「考える力」「チームで働く力」を自己成長の測定基準として利用しています。参加高校生はこれら3つの力について、100点満点で自己採点を行い、結果を共有。さらに、一人ひとりが採点結果とその理由を言語化して表現することにより、自己の学びを内面化するとともに、次回の課題と目標を明確化しました。このように、自主的に目標設定することによって内的動機づけが行われ、主体的なワーク参加による自己成長が可能となります。本来、社会人基礎力の評価は、さらに12に分かれるのですが、ここでは用いていません。3つの力について、高校生に詳細な基準を与えるよりも、内省と対話によって自分なりの解答を見いだしてもらうことを重要視しています。

（監修：石巻専修大学 経営学部教授 山崎泰央）

「効果測定シート」による参加高校生の平均値

	前に踏み出す力	考える力	チームで働く力
実施前	50.00 (点)	52.50 (点)	61.25 (点)
実施後	71.25 (点)	78.75 (点)	72.50 (点)
後 / 前	1.43	1.5	1.18



その他の成果

- 復興庁「新しい東北」継続事業として選定、宮城県内3校での開講決定
- 宮城県地域復興支援課 事例集への掲載団体として選定
- 全国6箇所の高等学校や行政より、本プログラム開講依頼



地域プラットフォーム構築事業

学生、企業、地元団体を繋ぐサポートネットワークとして、「地域プラットフォーム」を構築。教育関連の事業を展開（もしくは興味関心のある）地元企業・団体と協体制度を組み、地域における様々な教育事業に関する課題共有・解決の場として、連絡会やワークショップ、ゲストによる講義などの運営・開催を行います。

2014年度 参加団体数

第1回：石巻高校生教育支援連絡会（全体会議）

34名27団体

第2回：テーマ別検討会（テーマ：「継続」）9名6団体

第3回：成果報告会兼来年度の展開意見交換会 12名

（5団体+参加高校生の保護者）



MEDIA

メディア掲載一覧

『レイブル応援プロジェクト大阪一丸』

掲載媒体一覧

《新聞／雑誌》

朝日新聞／大阪日日新聞／京都新聞／産経新聞／中日新聞／北陸中日新聞／毎日新聞／読売新聞／関西ウォーカー／フリーペーパー・ウーマンライフ／COMVO／FLYING POSTMAN PRESS／THE BIG ISSUE など

《テレビ／ラジオ》

朝日放送／関西テレビ放送「スーパーニュースアンカー」／テレビ大阪「newsBIZ」／日本テレビ／ペイココミュニケーション／毎日放送「VOICE」／読売テレビ「かんさい情報ネットten」／eo光／NHK「ニューステラス関西」／FM COCOLO／FM OSAKA／KBS 京都 など

《web》

あべの経済新聞／梅田経済新聞／ウーマンライフ／大阪日日新聞／京橋経済新聞／産経新聞／なんば経済新聞／名駅経済新聞／47NEWS/asahi.com/greenz.jp/Hatena::Bookmark/mixiニュース/yahooニュース/YOMIURI ONLINE など

広告換算価値

期間	事業名	換算金額
平成23年9月1日 ～平成24年3月31日	「生きにくさ・働きにくさを持った若者応援プロジェクト事業」	55,016,188円
平成24年3月上旬 ～平成25年3月31日	緊急雇用創出基金事業「企業共同型レイブル(ニート)自立化事業」 緊急雇用創出基金事業「レイブル応援プロジェクト事業」	49,479,818円
平成25年3月上旬 ～平成26年3月31日	緊急雇用創出基金事業「人気産業活用人材育成事業」 緊急雇用創出基金事業「レイブル応援プロジェクト事業」	41,648,262円
合計		146,144,268円

※算出方法・・・各媒体別広告掲載費より



2013年12月2日放送分 朝日放送「キャスト」より

『いしのまきカフェ「 」』

掲載媒体一覧

《新聞／雑誌》

朝日新聞／石巻経済新聞／石巻日日こども新聞／河北新聞／教育新聞／京都新聞／月間福祉／高知新聞／ございん石巻／産経新聞／サンケイスポーツ新聞／四国新聞／しんぶん赤旗／東京新聞／東北復興新聞／日本教育新聞／北陸中日新聞／北海道新聞／毎日新聞／オレンジページ／ソトコト など

《テレビ／ラジオ》

NHK 仙台放送局「ニュース 645」／NHK 教育テレビ「こども手話ウィークリー」／ミヤギテレビ 報道（ニュース）／仙台放送「ともに」／関西テレビ「ハビくるっ！」／Date fm「reSTART! 石巻」／NHK 教育テレビ「Rの法則」／FM802「ROCK KIDS 802」「Beat Expo」／フジテレビ「Happiness is...!」／NHK 教育テレビ「東北発☆未来塾」「あなたが主役 50 ボイス」など／TOKYO FM JFN「ヒューマンケアプロジェクト」／ラジオ石巻 など

《web》

大阪日日新聞／河北新聞／共同通信／コロカル／東北1000プロジェクト／日本経済新聞／日本農業新聞 e農net/asahi.com/alternaxS/BLOGOS/東北まぐ22号/MSN産経ニュース/Yahoo! ニュース/YOMIURIONLINE

広告換算価値

合計 112,809,081円

※算出方法・・・各媒体別広告掲載費より



2013年7月2日放送分 東日本放送「スーパーJチャンネルみやぎ」より

2013年1月1日掲載分 朝日新聞より

2012年11月27日放送分 宮城放送「Oh!パндеス」より



MEDIA

『HELLO life』

掲載媒体一覧

《新聞／雑誌》

朝日新聞／大阪日日新聞／京都新聞／神戸新聞／埼玉新聞／全国不登校新聞 Fonte／読売新聞 など

《テレビ／ラジオ》

テレビ大阪／テレビ大阪「夕刊7チャンネル」／NHK「あさイチ」／NHK「大人へのトビラ」／NHK「おはよう関西」／NHK「ニューステラス関西」／毎日放送「VOICE」／KBS 京都 など

《web》

大阪日日新聞／関西ニュースウォーカー／船場経済新聞／greenz.jp／yahooニュース／YOMIURIONLINE など

広告換算価値

合計 78,810,423円

※算出方法・・・各媒体別広告掲載費より



2013年6月15日放送分 NHK「あさイチ」より



2014年9月26日放送分 毎日放送「VOICE」より

『The Work』

掲載媒体一覧

《新聞／雑誌》

大阪日日新聞／毎日新聞

《web》

大阪日日新聞／地域創造レター／OSAKA ARTS COUNCIL



2014年4月24日掲載分 大阪日日新聞より

広告換算価値

合計 2,129,339円

※算出方法・・・各媒体別広告掲載費より

『CHASHITSU for worker』／『CHASHITSU factory』

掲載媒体一覧

《テレビ／ラジオ》

eoニュース「ニュースK」

《新聞／雑誌》

大阪日日新聞／関西ウォーカー／読売life／Cafe&Restaurant／Meets Regional「Chase！」／OSAKA CAFE BOOK／SEVEN HOMME など

《web》

大阪日日新聞／eoグルメ など

広告換算価値

合計 1,867,559円

※算出方法・・・各媒体別広告掲載費より



FINANCIAL REPORT 2009 - 2013

会計報告 活動計算書 2009~2013年度

(単位：円)

	2013年 H25.4.1~H26.3.31	2012年 H24.4.1~H25.3.31
経常収益		
1. 寄付金	5,334,416	4,079,534
2. 事業収入	118,658,444	131,007,850
3. 雑収入	578,998	95,305
経常収益計	124,571,858	135,182,689
経常費用		
1. 事業費	94,565,935	104,645,947
2. 管理費	56,920,090	26,161,487
経常費用計	151,486,025	130,807,434
当期経常増減額	▲26,914,167	4,375,255
当期正味財産増加高	▲26,914,167	4,375,255
前期繰越正味財産	9,642,680	5,267,425
次期繰越正味財産	▲17,341,487	9,642,680

【2013年におけるマイナス部分についての解説】

自主事業(ハローライフ・飲食事業)の立ち上げに伴い、初期費用(物件施工・備品什器)について一部をクラウドファンディングより寄付金を募りましたが、不足分については役員から借入で補うことになりました。

(単位：円)

	2011年 H23.4.1~H24.3.31	2010年 H22.4.1~H23.3.31	2009年 H21.4.1~H22.3.31
	7,000,000	0	65,860
	55,111,300	20,723,850	8,675,395
	67,966	10,502	514,947
	62,179,266	20,734,352	9,256,202
	48,031,288	16,447,794	6,663,955
	8,117,885	4,219,539	3,421,934
	56,149,173	20,667,333	10,085,889
	6,030,093	67,019	▲829,687
	6,030,093	67,019	▲829,687
	▲762,668	▲829,687	0
	5,267,425	- 762,668	▲829,687

ごあいさつ

7年間を振り返ってみる。「雨降って地固まる」そんな心境です。ずっと全力ダッシュで、汗も涙も出し尽くして駆け抜けてきました。2007年の夏、「プロになります！」と宣言をしたのはいいけれども、そもそもプロで通用する武器や能力が無かったこともあり、2軍暮らし時代の約3年間（2007～2009）に筋トレと練習試合を重ね、試合に出場できるようになってからの3年間は（2010～2013）その喜びと感謝から、燃え尽きるまで走り突き抜けようとこれまでやってきました。

20代は「なにもものでもない」ことと「なにも失うものなんてない」ことを常に肝に命じながら、「既成概念」や「前例や規制」に囚われることなく、自分の心の中で勝手につくってしまう「限界」という考えを捨てて、どんなことにも失敗を恐れずに挑戦し続けてきました。一步踏み出し続けること、今しかできないことを大切に日々貪欲に…。今ぼくたちは、担う役割、受けている投資の意味を常に噛み締めています。

「20代はたくさん失敗して苦労して、30代には国を動かせる人物になれ。」と創業時に尊敬する方に言われたことがあります。我武者羅にもがき続けた7年間。たくさんの方に迷惑をおかけしました。たくさんの失敗をしました。それでもここまでやってこれたのは、とてもとてもありふれた言葉になってしまいますが、これまでたくさんの応援やご指導をくださった皆様のおかげです。心より御礼と感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

「スマスタで働いている人は、みんなとても楽しそうだね」「スマスタの人はみんなイキイキしてるね」とみなさんに感じていただけるよう、「ここで働いてよかった」と仲間を感じてもらえるよう、

昨日よりパワフルに
昨日より明るく
昨日より優しく
昨日より輝かしく
昨日よりあたたかく

日々を突き抜けていきたいと思います。
これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人スマイルスタイル
代表理事 塩山 諒

